

AI SMART DEVICE

V2L0

設定マニュアル

Ver.21.3.43.3



ご使用する前に

この度はAiスマートデバイス「V2LOW(以下、本機器)」をご購入いただき、ありがとうございます。本機器をご使用いただく前に取扱説明書(以下、本書)をよくお読みになり、必要な時にすぐにお読みいただけるよう、管理保管をお願いいたします。

注意

本機器は産業用途向けの体表面温度分布(以下、体表温分布)を顔認識時に同時に計測を行うことが可能な顔認証デバイスであり、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律(以下、薬機法)」で定められた体温計ではございません。

本機器や一般的な赤外線放射温度計及び、サーマルグラフィ機器は体温計としてご使用いただくことはできません。体温を測定には薬機法で定められた体温計にて測定を行ってください。

本機器では計測エリア内の温度を計測することは可能ですが、体温を計測することはできません。

本機器が測定する体表温分布は実際の温度と異なり、低い数値を表示し、また表示される数値も様々な要因により、個人差がございます。これは体表面が常に外気温などの周辺温度や風などに強く影響を受けるためです。

本機器では被写体がウイルス感染しているか判断を行うことはできません。

本機器で体表温分布を測定する際には帽子等は外して測定を行ってください。
※眼鏡の形状により眼鏡着用時に測定が行われない場合がございます。

本機器が設置されている環境や、被測定者の状況、状態等により表示される体表温分布の数値は異なります。

本機器は顔を認識した際に表示される枠内の一番高い温度を画面上に表示します。そのため、カイロや冷温湿布等が張り付けられた箇所や照明の映り込みなどにより表示される温度が異なります。

本機器は診断等の医療行為にはご使用いただけません。

本機器を設置される場合には温風や冷風があたらず、直射日光のあたらない場所に設置を行ってください。

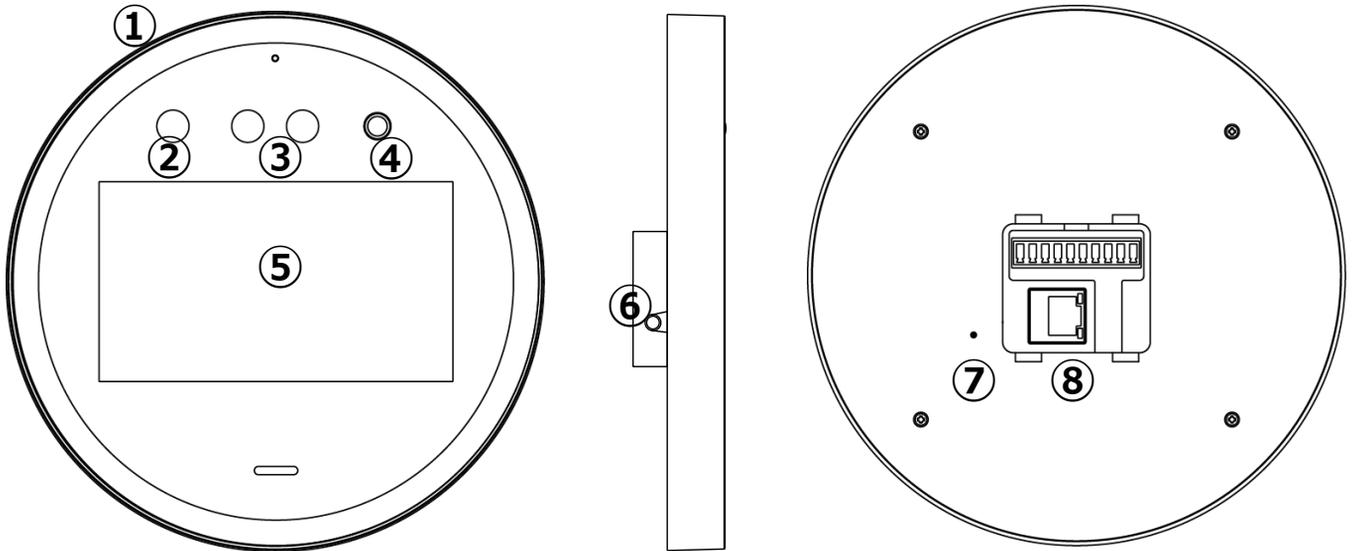
本機器の温度表示範囲は35℃～42℃までとなり、34.9℃以下はLOW表示となりますが、本機器の不具合ではございません。

本機器の計測タイミングによっては初めに「LOW」表示がされる場合がございます。その際にはそのままお待ちいただき、2度目の計測を行ってください。

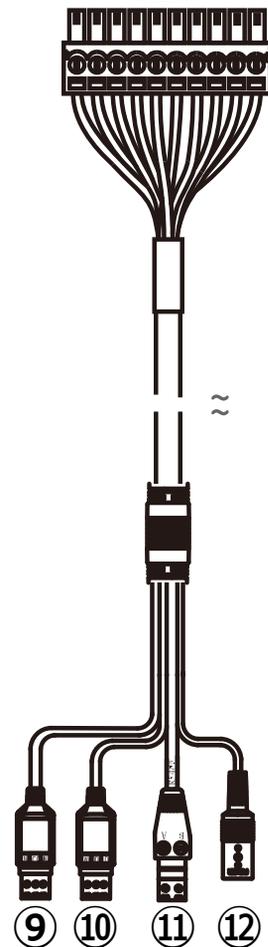
目 次

・各部名称	5
・V2LO本体と各スタンド、ブラケットへの取り付け方法	6
・卓上ブラケットへの取り付け方法	6
・壁面ブラケットへの取り付け方法	7
・設置環境についての注意事項	8
・カメラとパソコンとの直接接続について	9
・Windows7搭載パソコンの場合	9
・Windows10搭載パソコンの場合	12
・①カメラへのアクセス	14
・②カメラへのログイン方法	15
・機能設定	16
・1.基本設定	16
・1-1.バージョン情報	17
・1-2.日付設定	18
・1-3.サマータイム	19
・1-4.メイン	20
・1-5.画面表示	21
・1-6.スナップショット	22
・1-7.自動再起動設定	22
・1-8.スタンバイ設定	23
・1-9.音量設定	23
・1-10.音声アップロード	23
・1-11.補助光設定	24
・1-12.Wiegand設定	24
・1-13.RS485	24
・1-14.TCP/IP	25
・1-15.クラウドサービス	25
・1-16.ネットワークテスト	25
・1-17.MQTT本体設定	27
・1-18.STMP本体設定	28
・1-19.Wi-Fi本体設定	29
・1-20.顔認識	30
・1-20-1.リレー動作表	32
・1-21.温度設定	34
・1-22.登録者表示	34
・1-23.ユーザー登録	35
・1-23-1.admin情報の修正	36
・仕様	37
・設定確認チェックシート	38
・保証書	38

各部名称



①	アラートLED
②	赤外線LED
③	可視カメラ
④	サーマルカメラ
⑤	液晶パネル
⑥	スタンド固定ねじ受け
⑦	RESETボタン
⑧	RJ45(LAN)端子
⑨	C接点端子(N.O / COM / N.C)
⑩	Wiegand端子
⑪	RS485端子
⑫	DCジャック

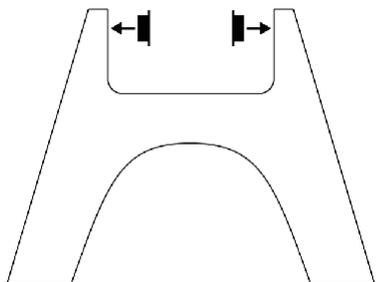


V2LO

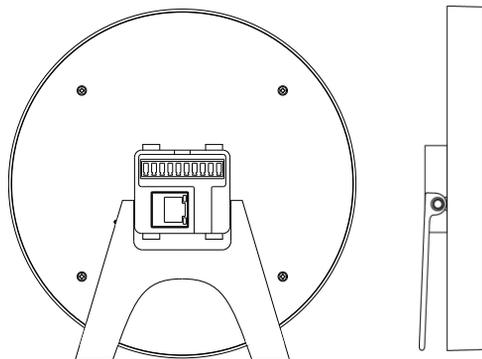
・事前準備①

V2LO本体と各スタンド、ブラケットへの取付け方法

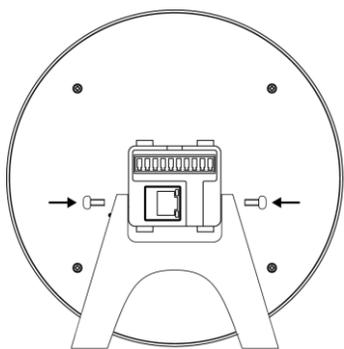
・ 卓上スタンドの取付け方法



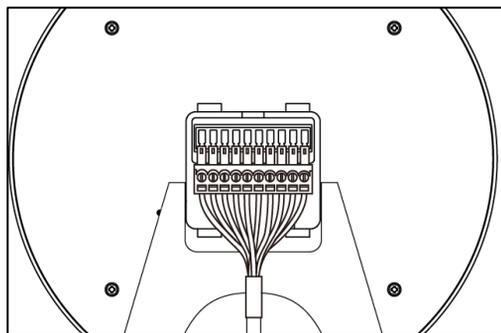
① 付属のゴムスペーサーを卓上スタンドの内側2か所に取り付めます。



② 卓上スタンドをV2LO本体に取り付けます。この際、ゴムスペーサーが取れないようまた、卓上スタンドの向きに注意ください。



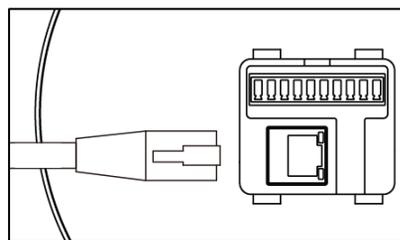
③ 卓上スタンドを付属のねじ(短)で両端から締付、固定します。
※ねじの締め過ぎにご注意ください。



④ 付属のケーブルを接続します。

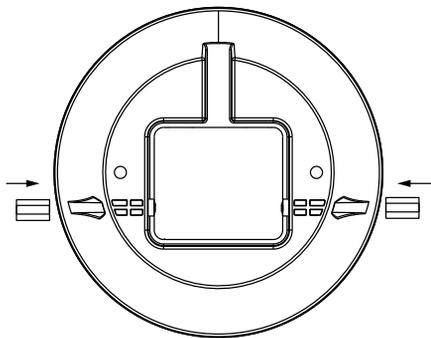


⑤ ケーブルから出ているDCジャックに付属のACアダプターのDCプラグを接続し、ACアダプターをコンセントに接続します。

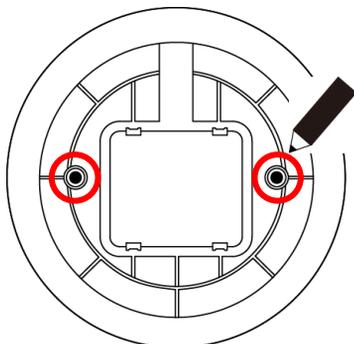


⑥ パソコンからV2LOに接続する場合は本体にLANケーブルを接続します。

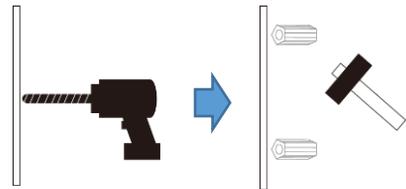
壁面ブラケットの取付け方法



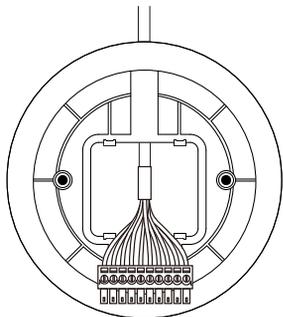
① 付属の壁面ブラケットに
付属のナットを取付けます。



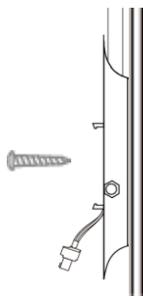
② 設置場所に壁面ブラケットを
合わせ、ねじ位置を
ペンなどでマーキングします。



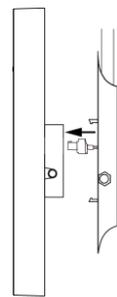
③ マーキングした2箇所に
7mmの下穴をあけ、
付属のコンクリートプラグを
ハンマー等で打ち込みます。



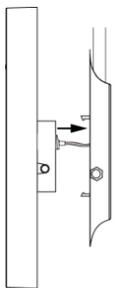
④ 付属のケーブルを
壁面ブラケット中央の開口部
に通します。



⑤ 壁面ブラケットを設置面に
当て付属のねじで固定します。
この際、ケーブルは
壁面ブラケットの上部の凹み
に通します。



⑥ ケーブルのコネクターを
V2LO本体に接続します。



⑦ 壁面ブラケットにV2LO本体
を「カチッ」と音が鳴るまで
押しつけ、取付けます。



⑧ ケーブルから出ているDCジャックに
付属のACアダプターのDCプラグを
接続し、ACアダプターをコンセント
に接続します。

V2L0

・設置環境についての注意事項

- ・本機器の温度検知機能を使用する際には周囲温度が35℃以内かつ、他の熱源や換気扇の近くや、エアコンなどの風が当たらない、温度が一定な場所でご使用ください。
また温度測定するにはカメラで設定した距離を基準に枠内に顔が収まるよう設置を行ってください。(カメラとの距離は設定により変更可能です。)
- ・顔認証では頭を直立させ、モニタの枠内に入るように立ってください。帽子をかぶらないで撮影してください。サングラスの着用や濃い化粧をなど、なさないでください。撮影するときは前髪やタオルなどで額を覆わないようにしてください。また、撮影する際には下図の姿勢で撮影を行ってください。



正面

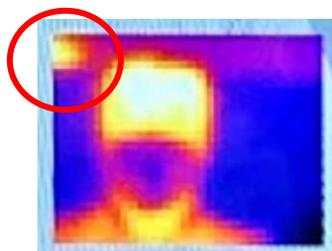
頭をかしげる

横を向く

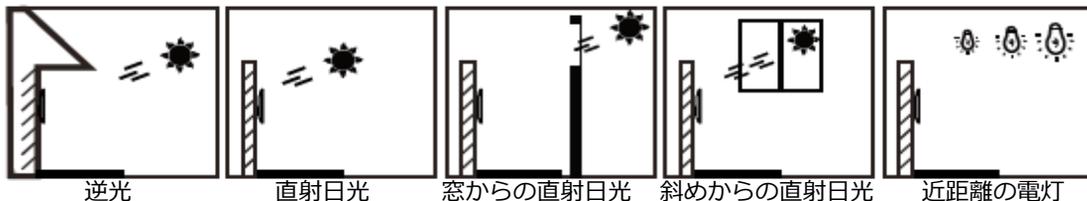
上を向く

下を向く

- ・本機器の温度検出は顔を検出した際に表示される枠内の最大温度を表示します。そのため、表示される枠内に他の熱源(蛍灯などの照明器具や日光などで熱せられた壁など)が入り込まないように設置を行ってください。
他の熱源が枠内に入り込んでいるかは画面右下に表示されるサーマル画像上で確認することができます。(下図の赤丸部参照のこと)



- ・本機器を設置する際には以下の環境下では設置しないでください。



逆光

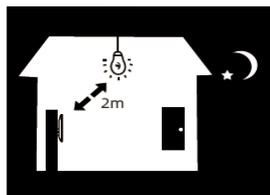
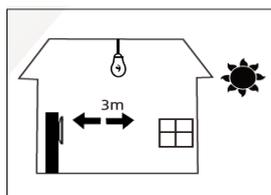
直射日光

窓からの直射日光

斜めからの直射日光

近距離の電灯

- ・本機器を屋内に設置する場合は電灯から2m以上離して設置してください。
また、本機器から電灯、ドアや窓から3m以上離して設置してください。
電灯などは本機器の近くに置かず、太陽光は直接当たらないようにしてください。



・事前準備②

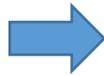
・カメラとパソコンとの直接接続について

カメラとパソコンをLANケーブルで直接接続する場合、予めパソコンのネットワーク設定が必要となります。パソコンのネットワーク設定は以下の手順で行います。

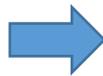
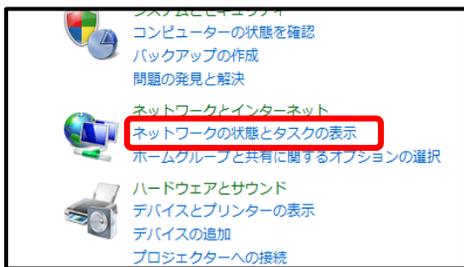
※ルーター経由で接続する場合、この操作は不要です。

Windows7搭載パソコンの場合

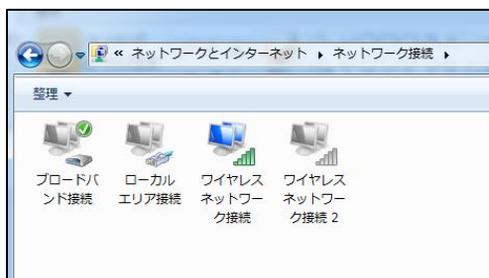
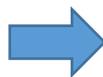
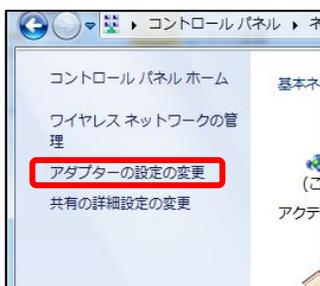
1. スタートメニューを開き、スタートメニュー内の「コントロールパネル」にマウスカーソルを合わせ、マウスの左ボタンをクリックし、コントロールパネルを表示します。



2. コントロールパネル内の「ネットワークとインターネット」下部にある「ネットワーク状態とタスクの表示」にマウスカーソルを合わせ、マウスの左ボタンをクリックし、「ネットワークと共有センター」を表示します。

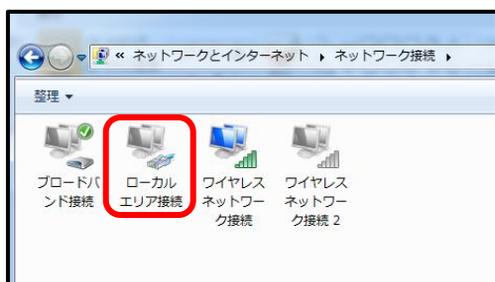


3. ネットワークと共有センター左側の「アダプターの設定の変更」にマウスカーソルを合わせ、マウスの左ボタンをクリックし、「ネットワーク接続」を表示します。

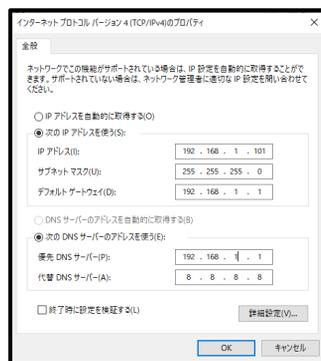


V2L0

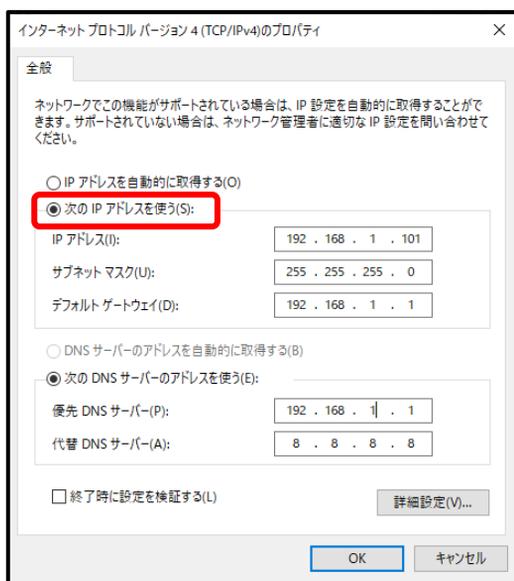
4.「ネットワーク接続」内の「ローカルエリア接続」にマウスカーソルを合わせ、左ボタンをダブルクリックし、「ローカルエリア接続のプロパティ」を表示します。



5.「ローカルエリア接続のプロパティ」内の「この接続先は次の項目を使用します(O):」内の「インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)」にマウスカーソルを合わせ、マウスの左ボタンをダブルクリックし、「インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)のプロパティ」を表示します。



6.表示された「インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)のプロパティ」内の「次のIPアドレスを使う(S):」にチェックを入れます。



7.「次のIPアドレスを使う(S):」にチェック後、「IPアドレス」「サブネットマスク」「デフォルトゲートウェイ」「優先DNSサーバー」に下図の通りに値を入力します。

この際、カメラのIPアドレスが「192.168.1.xxx」に設定されている場合、

「xxx」部はカメラに表示されているIPアドレスと異なる数字を「1～254」までで入力します。

● 次の IP アドレスを使う(S):

IP アドレス(I): 192 . 168 . 1 . 101

サブネット マスク(U): 255 . 255 . 255 . 0

デフォルト ゲートウェイ(D): 192 . 168 . 1 . 1

DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する(B)

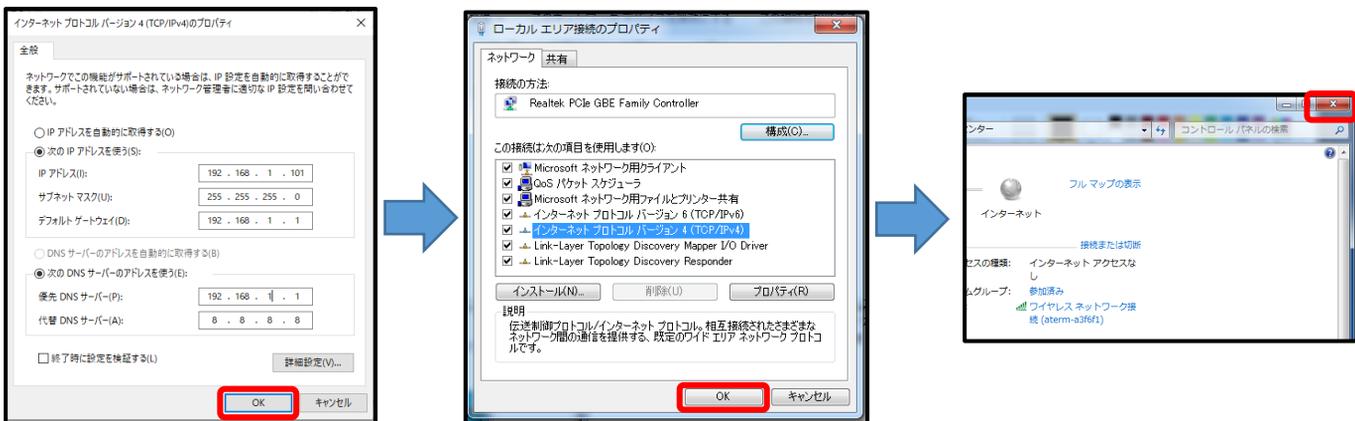
● 次の DNS サーバーのアドレスを使う(E):

優先 DNS サーバー(P): 192 . 168 . 1 . 1

8.各項目入力後、下部の「OK」ボタンにマウスカーソルを合わせ、左クリックし、「インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)のプロパティ」を閉じます。

同様に「ローカルエリア接続のプロパティ」下部の「OK」ボタンにマウスカーソルを合わせ、左クリックし、「ローカルエリア接続のプロパティ」を閉じます。

最後に「コントロールパネル」右上の「×」ボタンにマウスカーソルを合わせ、左クリックし、「コントロールパネル」を閉じてネットワーク設定の完了です。



9.ネットワーク設定を元に戻すには逆の手順で

「インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)のプロパティ」上で、

「IPアドレスを自動的に取得する」にチェックを入れ設定を保存してください。

IP アドレスを自動的に取得する(O)

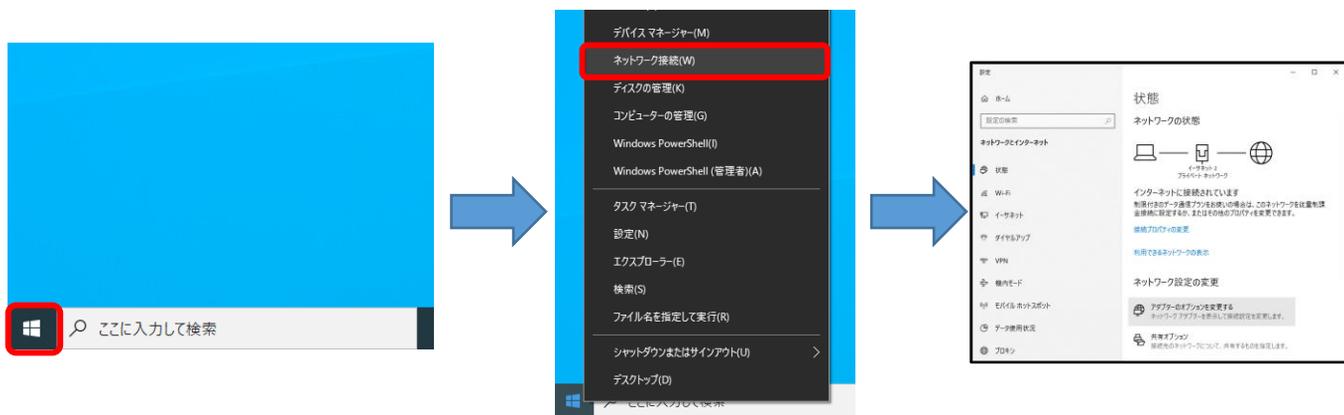
● 次の IP アドレスを使う(S):

IP アドレス(I): 192 . 168 . 1 . 101

V2L0

Windows10搭載パソコンの場合

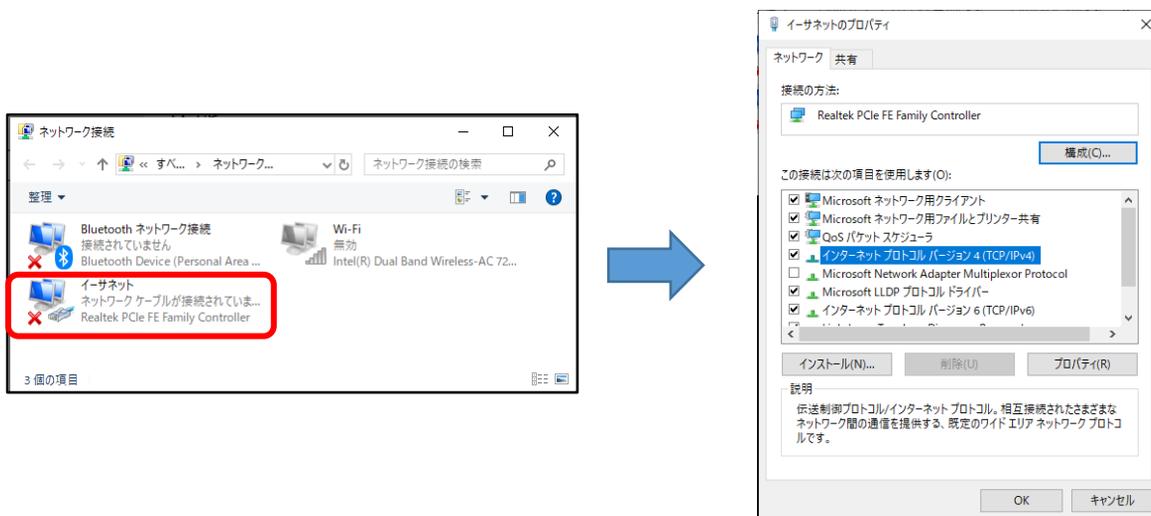
1. スタートメニューアイコンにマウスカーソルを合わせ、右クリックし、表示されたポップアップメニュー上の「ネットワーク接続」を左クリックし、「設定」を表示します。



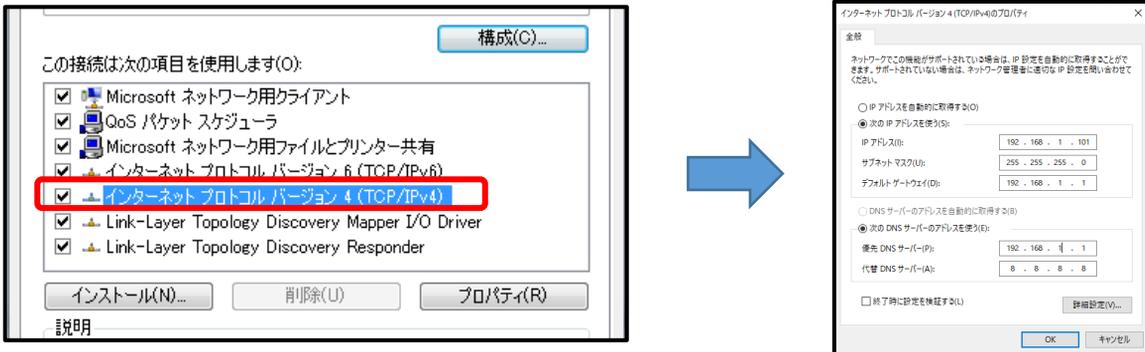
2. クリック後、表示された「設定」ウインドウ上の「アダプターのオプションを変更する」にマウスカーソルを合わせ、左クリックし、「ネットワーク接続」を表示します。



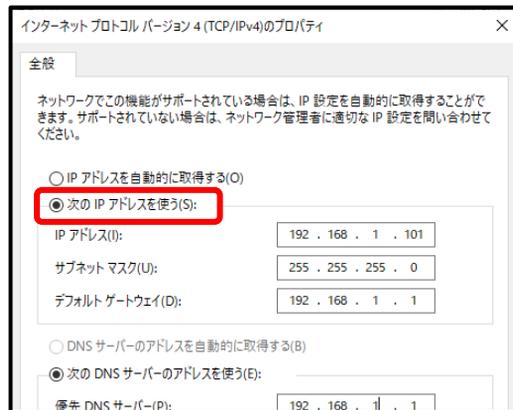
3. 「ネットワーク接続」上の「イーサネット」または「ローカルエリア接続」にマウスカーソルを合わせ、左ボタンをダブルクリックし、「イーサネットのプロパティ」または「ローカルエリア接続のプロパティ」を表示します。



表示されたプロパティ内の「この接続先は次の項目を使用します(O):」内の「インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)」にマウスカーソルを合わせ、マウスの左ボタンをダブルクリックし、「インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)」のプロパティを表示します。



5. 表示された「インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)のプロパティ」内の「次のIPアドレスを使う(S):」にチェックを入れます。



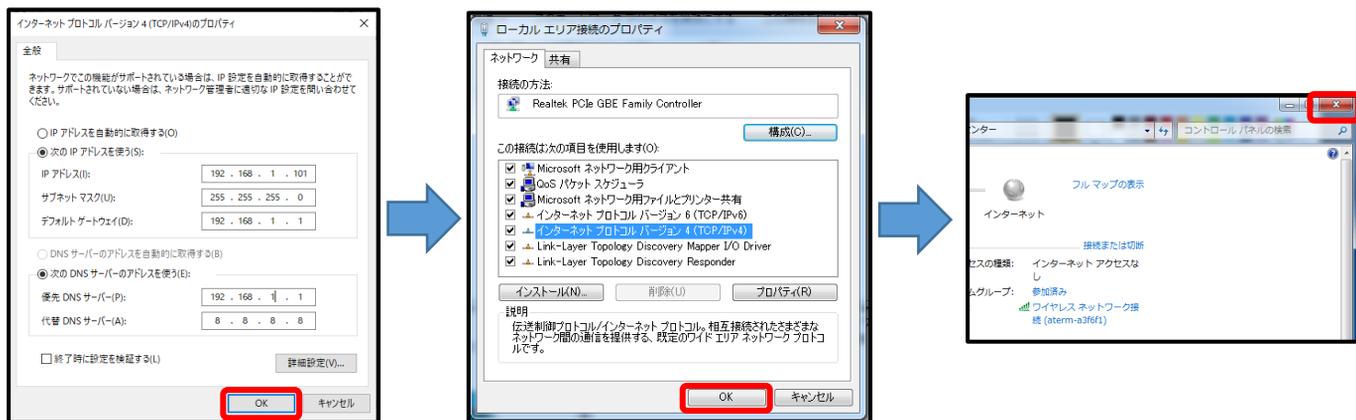
6. 「次のIPアドレスを使う(S):」にチェック後、「IPアドレス」「サブネットマスク」「デフォルトゲートウェイ」「優先DNSサーバー」に下図の通りに値を入力します。

この際、カメラのIPアドレスが「192.168.1.xxx」に設定されている場合、「xxx」部はカメラに表示されているIPアドレスと異なる数字を「1～254」までで入力します。



V2L0

- 7.各項目入力後、下部の「OK」ボタンにマウスカーソルを合わせ、左クリックし、「インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)のプロパティ」を閉じます。
同様に「ローカルエリア接続のプロパティ」下部の「OK」ボタンにマウスカーソルを合わせ、左クリックし、「ローカルエリア接続のプロパティ」を閉じます。
最後に「コントロールパネル」右上の「×」ボタンにマウスカーソルを合わせ、左クリックし、「コントロールパネル」を閉じてネットワーク設定の完了です。



- 9.ネットワーク設定を元に戻すには逆の手順で「インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)のプロパティ」上で、「次のIPアドレスを使う」から「IPアドレスを自動的に取得する」にチェックを入れ設定を保存してください。



・事前準備③

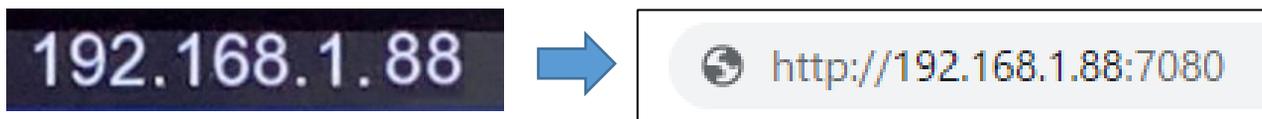
①カメラへのアクセス

パソコン上のMicrosoft EdgeまたはChromeを起動します。

IEまたはChromeが起動しましたらカメラ本体の右上に表示されているIPアドレスを確認し、IEのアドレスバーに下記の通りに入力します。

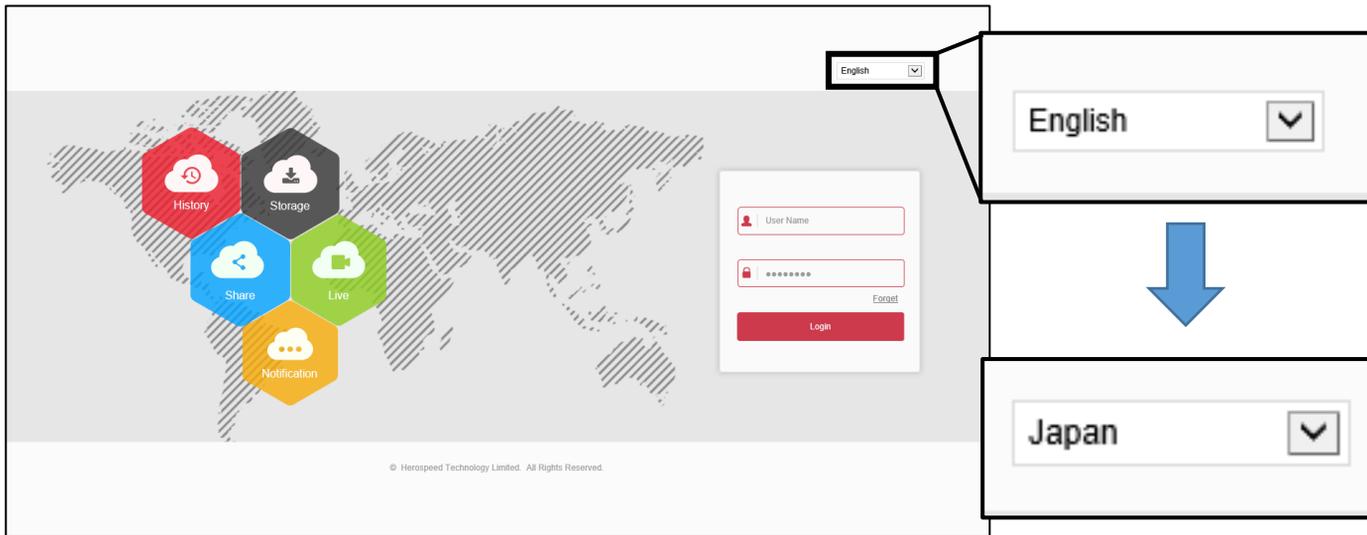
※カメラに表示されるアドレスは機器や環境によってアドレスは異なります。

参考例：カメラに表示されたIPアドレスが「192.168.1.88」の場合、アドレスバーには「http://192.168.1.88:7080」と入力

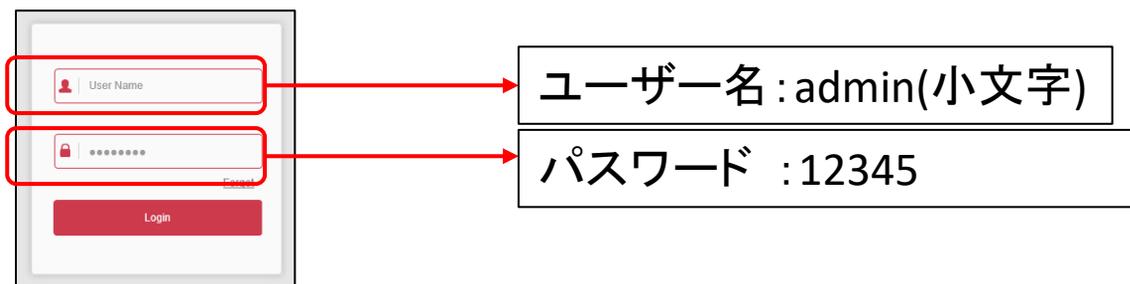


②カメラへのログイン方法

ログイン画面右上にある言語ウインドウの  をクリックし、表示されたプルダウンメニューより「Japan」を選択します。



言語選択後、ユーザー名に「admin(小文字)」、パスワードに「12345」を入力し、「Login」ボタンをクリックします。



正常にログインされると下図の画面が表示されます。



機能設定

出荷時には予め温度が表示されるよう設定がされておりますが、機器をリセット(工場出荷状態)した場合には各設定を行ってください。

1. 基本設定

ログイン後表示されるイメージレビュー画面内より「本体設定」をクリックし、下図の設定メニューを表示します。



- 本体設定画面では下図のように各項目が左側に表示され、各項目のサブ項目が上部にタブ表示されます。
項目の値は直接入力するか ボタンがある場合は ボタンをクリックし、表示されたリスト上から選択します。
項目の値を変更後、反映するには値変更後に「保存」をクリックします。



1-1.バージョン情報

「本体設定」画面上の項目より「システム」メニュー内の「システム」を選択し、サブ項目の「バージョン情報」を選択します。

システム	バージョン情報	日付設定	サマータイム	メイン	画面表示	スナップショット
システム設定	シリアルナンバー:	7101574026064				
自動再起動設定	型番:	V2LO				
ユーザー設定	ファームウェアバージョン:	V2LOEN_MX806II_V21.3.27.4				
音量設定	日付設定:	Jul 8 2021 15:18:55				
補助光設定	WEBバージョン:	21.1.16.210703				
Wiegandプロトコル						
RS485						
ネットワーク						

シリアルナンバー	カメラのシリアル番号が表示されます。
型番	カメラの型番が表示されます。
ファームウェアバージョン	現在のファームウェアバージョンが表示されます。
日付設定	カメラの現在時刻が表示されます。
WEBバージョン	WEBバージョンが表示されます。

1-2.日付設定

「本体設定」画面上の項目より「システム」メニュー内の「システム」を選択し、サブ項目の「日付設定」を選択します。

システム	バージョン情報	日付設定	サマータイム	メイン	画面表示	スナップショット
システム設定	タイムゾーン	GMT+09:00 Chita City, Sapporo, Tokyo, Osaka, Seoul, Yakutsk ▼				
自動再起動設定	<input type="checkbox"/> 日付/時間の手動設定					
ユーザー設定	日付/時間	2021-10-06	16	25	53	
音量設定	<input type="checkbox"/> パソコン時刻と同期	2021/10/6 16:25:58				
補助光設定	<input checked="" type="checkbox"/> NTP自動時刻補正					
Wiegandプロトコル	NTP サーバー	time.windows.com ▼				
RS485	手動入力					
ネットワーク	NTP ポート	123				
顔認識	NTP更新間隔 (分)	10				

タイムゾーン	使用するタイムゾーンを選択します。 通常は「GMT+09:00 Sapporo, Tokyo, Osaka, Seoul, Yakuts, Chita City」を選択します。 【標準値：GMT+00:00 Dublin, Edinburgh, Lisbon~】
日付/時間の手動設定	チェックを入れると時刻を手動で設定することができます。 時刻は「日付/時間」項目より設定を行います。
パソコン時刻と同期	チェックを入れると現在接続されているパソコンの時刻に合せ、時刻を修正いたします。 パソコンの現在時刻は右側に表示されます。
NTP自動時刻補正	チェックを入れるとNTPサーバーにアクセスし、時刻を自動的に修正します。 ※カメラがインターネットに接続する必要があります。
NTPサーバー	NTP自動時刻補正にチェックが入っている場合、アクセスを行うNTPサーバーを選択します。
サーバー手動入力	NTPサーバー項目で「手動入力」を選択時、右の空欄にNTPサーバーアドレスを入力する事ができます。 アクセスを行うNTPサーバーアドレスを入力します。
NTPポート	接続するNTPサーバーに合わせてポート番号を入力します。 ※通常は変更しません。【標準値：123】
NTP更新間隔(分)	NTPサーバーにアクセスを行う更新間隔を設定します。(単位：分) 【標準値：10】

1-3.サマータイム

「本体設定」画面上の項目より「システム」メニュー内の「システム」を選択し、サブ項目の「サマータイム」を選択します。

The screenshot shows the 'システム' (System) menu with 'サマータイム' (Summer Time) selected. The 'システム設定' (System Settings) sub-menu is open, showing the following options:

- サマータイム
- タイプ: 週
- 開始時間: 3月 第1週 日曜日 03:00
- 終了時間: 11月 第1週 日曜日 03:00
- オフセット(分): 60

A red '保存' (Save) button is visible at the bottom.

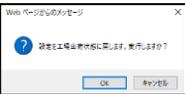
サマータイム	チェックを入れるとサマータイム機能を使用します。 【標準値：チェックなし】
タイプ	設定を行う設定タイプを選択します。 選択値：週 / 日付設定
開始時間	サマータイム期間の開始時間(月 / 週 / 曜日 / 時 / 分)を選択します。
終了時間	サマータイム期間の終了時間(月 / 週 / 曜日 / 時 / 分)を選択します。
オフセット(分)	サマータイム期間中のオフセットを選択します。 選択値：30 / 60 / 90 / 120(分) 【標準値：60】

V2L0

1-4.メイン

「本体設定」画面上の項目より「システム」メニュー内の「システム」を選択し、サブ項目の「メイン」を選択します。



システム再起動	再起動	選択すると下図のメッセージが表示されます。「OK」をクリックすると再起動を行います。 
	工場出荷時設定	選択すると下図のメッセージが表示されます。「OK」をクリックすると設定を初期化し、再起動を行います。 工場出荷設定を行うと設定値が初期化され、レコードデータがすべて消去されます。 
アップグレード	ブラウザ選択後、表示されたエクスプローラー上でアップグレードするファームウェアファイルを選択し、「ブラウザ」ボタンをクリックすることで開くエクスプローラー上よりファームウェアファイルを選択します。 ファイルを選択後、「アップグレード」ボタンを選択すると下図のメッセージが表示されます。「OK」をクリックすると再起動後、ファームウェアをアップグレードします。  注意：使用可能なファームウェアは「V2LOEN_MX806 II V21.3.xx.x」以降です。「V20.5.xx.x」以前のファームウェアはご使用できません。	

手動オンラインアップグレード	使用しません。
自動オンラインアップグレード	使用しません。

1-5.画面表示

「本体設定」画面上の項目より「システム」メニュー内の「システム」を選択し、サブ項目の「画面表示」を選択します。



画面表示	画面上に表示を行う項目を選択します。 選択値：・表示しない・シリアル番号・デバイス名・IPアドレス 【標準値：IPアドレス】 ・機器との接続を容易に行うため、IPアドレスの表示をお勧めします。
言語	モニター上の表示言語を9か国語より選択します。 「Japan」以外が選択されている場合は「Japan」を選択します。 【標準値：English】
デバイス名	ディスプレイ構成にてデバイス名を表示するが選択されている際に 表示を行うデバイス名を入力します。 【標準値：FRD】
温度単位	表示する温度単位を選択します。 選択値：華氏・摂氏・ケルビン 【標準値：摂氏】

V2L0

1-6.スナップショット

「本体設定」画面上の項目より「システム」メニュー内の「システム」を選択し、サブ項目の「スナップショット」を選択します。

システム

バージョン情報 日付設定 サマータイム メイン 画面表示 **スナップショット**

システム設定

自動再起動設定 記録を保存します。:

ユーザー設定 画像を保存します。:

音量設定

補助光設定

Wiegandプロトコル

記録設定

記録保持時間設定: 制限なし

記録を保存します。	チェックを入れると、顔を撮影した際の温度、時刻等の記録を保存します。 【標準値：チェックあり】
画像を保存します。	チェックを入れると、顔を撮影した際の顔画像を保存します。 【標準値：チェックあり】
記録保持時間設定	温度や時刻、顔画像等、レコードの保持時間を設定します。 「コード保持時間設定」を選択すると下部に表示される「時間」入力欄に 入力した設定時間内以外の、レコードが自動的に消去されます。 選択値：制限なし・記録保持時間設定 【標準値：制限なし】
記録保持時間設定	※記録保持時間設定選択時のみ表示 レコードを保持する時間を選択します。(単位：時間) 【標準値：0】 ※「0」に設定された場合、「記録を保存します」のチェックが外れます。

1-7.自動再起動設定

「本体設定」画面上の項目より「システム」メニュー内の「自動再起動」を選択し、サブ項目の「自動再起動」を選択します。

システム

自動再起動設定 スタンバイ設定

システム設定

自動再起動設定

ユーザー設定

音量設定

補助光設定

Wiegandプロトコル

自動再起動設定

週ごと 水 03 時 03 分

保存

自動再起動設定	自動的に再起動を行う日時を設定します。 選択値：使用しません・毎日(時・分)・毎週(曜日・時・分) ・毎月(日・時・分) 【標準値：毎週・水曜日・03時03分】
---------	---

1-8.スタンバイ設定

「本体設定」画面上の項目より「システム」メニュー内の「自動再起動」を選択し、サブ項目の「スタンバイ設定」を選択します。

システム	自動再起動設定	スタンバイ設定
システム設定		
自動再起動設定		スタンバイ機能
ユーザー設定	待機時間	10分
音量設定		

待機時間

最後に顔撮影後スタンバイ(モニターのみ消灯)に移行するまでの時間を設定します。

選択値：使用しない・5分・10分・30分 【標準値：10分】

1-9.音量設定

「本体設定」画面上の項目より「システム」メニュー内の「音量設定」を選択します。

システム	音量設定	
システム設定		
自動再起動設定	音量設定(0-24)	15
ユーザー設定		
音量設定		保存

音量設定

音声のボリュームを調整します。【標準値：15】

1-10.音声アップロード

「本体設定」画面上の項目より「システム」メニュー内の「音量設定」を選択し、サブ項目の「音声アップロード」を選択します。

システム	音量設定	音声アップロード
システム設定		
自動再起動設定	言語	日本語
ユーザー設定	コンテンツのカスタマイズ	マスクなし
音量設定	ファイルアップロード	
補助光設定		

言語

音声を変更する言語を選択します。【標準値：日本語】

コンテンツのカスタマイズ

音声を変更する項目を選択します。

登録済みの音声で初期音声に戻すには削除ボタンをクリックします。

選択値：マスクなし・パスしてください・位置合わせしてください

高温計測時・正常温度時・低温計測時

V2L0

ファイルアップロード

ブラウザボタンをクリックするとエクスプローラーを表示します。
エクスプローラー上から音声ファイルを選択します。
(WAV形式・44.1～48KHz・16bit・500kb以下)
音声ファイルを選択するとファイルアップロード欄にファイルパスと
ファイル名が表示されます。
アップロードボタンをクリックするとファイルを登録します。

1-11.補助光設定

「本体設定」画面上の項目より「システム」メニュー内の「補助光設定」を選択します

システム	補助光設定
システム設定	画面の明るさ設定(45-100) <input type="text" value="60"/>
自動再起動設定	補助光有効 <input checked="" type="checkbox"/>
ユーザー設定	
音量設定	
補助光設定	
<input type="button" value="保存"/>	

画面の明るさ設定

画面の明るさを設定します。 選択値：45-100 【標準値：60】

補助光有効

チェックを入れると顔検出時、補助光を点灯します。【標準値：チェックあり】

1-12.Wiegand設定

「本体設定」画面上の項目より「システム」メニュー内の「Wiegand設定」を選択します

システム	Wiegandプロトコル
システム設定	方向 <input type="text" value="入力"/>
自動再起動設定	
ユーザー設定	
音量設定	
補助光設定	
Wiegandプロトコル	
<input type="button" value="保存"/>	

方向

信号方向を選択します。
選択値：入力 【標準値：入力】

1-13.RS485

「本体設定」画面上の項目より「システム」メニュー内の「RS485」を選択します

システム	RS485
システム設定	ポーレート <input type="text" value="115200"/>
自動再起動設定	検証方法 <input type="text" value="NO"/>
ユーザー設定	データビット <input type="text" value="8"/>
音量設定	ストップビット <input type="text" value="1"/>
補助光設定	
Wiegand設定	
RS485	
<input type="button" value="保存"/>	

通信ボーレート	通信ボーレート(転送速度)を選択します。 選択値：110～921600【標準値：115200】
検証方法	データ通信の際の付加ビットを選択します。 選択値：NO・ODD・Parity【標準値：NO】
データビット	送信する際のビット数を選択します。 選択値：6・7・8【標準値：8】
ストップビット	ストップビットとして使用するビット数を選択します。 選択値：1・2【標準値：1】

1-14.TCP/IP

「本体設定」画面上の項目より「ネットワーク」メニュー内の「基本設定」を選択し、サブ項目の「TCP/IP」を選択します。

システム	TCP/IP	クラウドサービス	ネットワークテスト
ネットワーク	DHCP有効	<input checked="" type="checkbox"/>	
基本設定	IPアドレス	<input type="text" value="192.168.1.49"/>	
詳細設定	サブネットマスク	<input type="text" value="255.255.255.0"/>	
顔認識	ゲートウェイ	<input type="text" value="192.168.1.1"/>	
温度測定	HTTPポート	<input type="text" value="80"/>	
登録者表示	MACアドレス	<input type="text" value="2C:6F:51:15:3D:4C"/>	
	プライマリDNS	<input type="text" value="192.168.1.1"/>	
	セカンダリDNS	<input type="text" value="8.8.8.8"/>	

DHCP有効	チェックを入れるとDHCPによるIPアドレス自動割り当て機能を使用します。 【標準値：チェックなし】
IPアドレス	DHCPにチェックなしの場合、使用するIPアドレスを入力します。 【標準値：192.168.0.88】
サブネットマスク	DHCPにチェックなしの場合、使用するサブネットマスクアドレスを入力します。 【標準値：255.255.255.0】
ゲートウェイ	DHCPにチェックなしの場合、使用するゲートウェイアドレスを入力します。 【標準値：192.168.0.1】
HTTPポート	使用するHTTPポートを設定します。【標準時：7080】
MACアドレス	機器のMACアドレスが表示されます。
プライマリDNS	DHCPにチェックなしの場合、入力できます。 使用するプライマリ(優先)DNSアドレスを入力します。
セカンダリDNS	DHCPにチェックなしの場合、入力できます。 使用するセカンダリ(代替)DNSアドレスを入力します。

V2L0

1-15.クラウドサービス(使用しません)

「本体設定」画面上の項目より「ネットワーク」メニュー内の「基本設定」を選択し、サブ項目の「クラウドサービス」を選択します。



クラウドサービスを有効にする

チェックを入れるとクラウドサービスを使用します。
接続状態に現在の接続状態が表示されます。
【標準値：チェックなし】

1-16.ネットワークテスト

「本体設定」画面上の項目より「ネットワーク」メニュー内の「詳細設定」を選択し、サブ項目の「ネットワークテスト」を選択します。



ネットワークテスト

テスト接続を行う宛先を選択し、「テスト」ボタンをクリックすることでネットワークの通信テストを行います。
手動入力を選択する場合、表示された空欄に宛先を入力します。
選択値：www.google.com、www.baidu.com
www.facebook.com、www.youtube.com
www.yahoo.com、サーバー手動入力
【標準値：www.google.com】

1-17.MQTT本体設定

「本体設定」画面上の項目より「ネットワーク」メニュー内の「詳細設定」を選択し、サブ項目の「MQTT本体設定」を選択します。

MQTT	チェックを入れることでMQTT機能を有効にします。
ユーザー名	MQTT接続に使用するユーザー名を入力します。
パスワード	MQTT接続に使用するパスワードを入力します。
ポート	MQTT接続に使用するポート番号を入力します。 【標準値：1883】
サーバー	MQTT接続に使用するサーバーアドレスを入力します。
サブスクリプション QoS	使用するQoSレベルを設定します。 選択値：ほぼ一回(QoS0)・少なくとも一回(QoS1)・一回のみ(QoS2) 【標準値：多くても一度】
サブスクリプション トピック	使用するトピックを入力します。 【標準値：SubscribeTest】
パブリッシャー使用	チェックを入れることでパブリッシャー機能を有効にします。
パブリッシャー QoS	使用するQoSレベルを設定します。 選択値：ほぼ一回(QoS0)・少なくとも一回(QoS1)・一回のみ(QoS2) 【標準値：多くても一度】
パブリッシャー トピック	使用するトピックを入力します。 【標準値：PublishTest】

V2L0

1-18.SMTP本体設定(メール送信設定)

「本体設定」画面上の項目より「ネットワーク」メニュー内の「詳細設定」を選択し、サブ項目の「SMTP本体設定」を選択します。

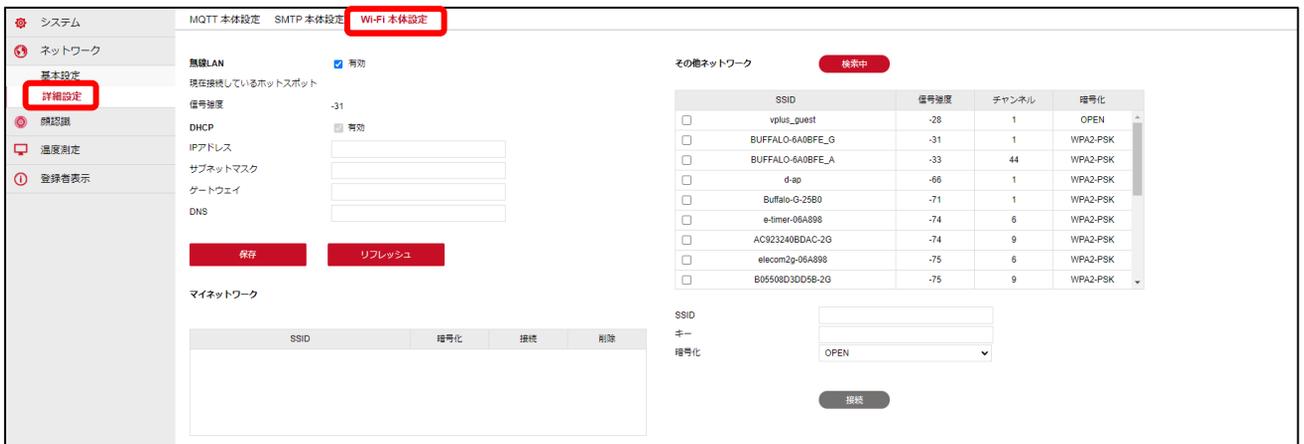
The screenshot shows the 'SMTP 本体設定' page. On the left, a navigation menu includes 'システム', 'ネットワーク', '基本設定', '詳細設定' (highlighted), '顔認識', '温度測定', and '登録者表示'. The main content area has tabs for 'MQTT 本体設定', 'SMTP 本体設定' (active), and 'Wi-Fi 本体設定'. Settings include: 'メール警報 有効' (checkbox), 'SMTPサーバー' (dropdown set to '手動入力'), '手動入力 SMTPサーバー' (text field: smtp.MailServer.com), '差出人のアドレス' (text field: User@domain.com), 'ポート' (text field: 465), 'ファイル添付' (checkbox), '件名' (text field: FRD ALERT), '暗号方式' (dropdown set to 'SSL'), 'ユーザー名' (text field: User), 'パスワード' (text field:), '受信者1' (text field: receiver1@domain.com), '受信者2' (text field: receiver2@domain.com), and '受信者3' (text field: receiver3@domain.com). A 'テスト' button is next to the first recipient field, and a red '保存' button is at the bottom.

メール警報有効	チェックを入れるとメール送信機能を使用します。 【標準値：チェックなし】
SMTPサーバー	メール送信に使用するSMTPサーバーを選択します。 選択値：Smtp.163.com・Smtp.qq.com・Smtp.sina.com・ Smtp139.com・Smtp.mail.yahoo.com.cn・ Smtp.live.jp・Smtp.gmail.com・サーバー手動入力 【標準値：サーバー手動入力】
サーバー手動入力 SMTPサーバー	SMTPサーバーで手動入力を選択時、入力できます。 SMTPサーバーアドレスを入力します。
差出人のアドレス	メール送信に使用するメールアドレス入力します。
ポート	メール送信に使用するポート番号を入力します。
ファイル添付	チェックを入れると、メール送信時に画像を添付します。 【標準値：チェックなし】

件名	メール送信の際の件名を入力します。 【標準値：FRDALERT】
暗号方式	メール送信に使用する暗号方式を選択します。 選択値：NONE・SSL・TSL 【標準値：SSL】
ユーザー名	SMTPサーバーにログインするユーザーIDを入力します。
パスワード	SMTPサーバーにログインするパスワードを入力します。
受信者1～3	メールを送信する宛先アドレスを入力します。 メールアドレスは3つまで登録が可能です。

1-19.Wi-Fi本体設定

「本体設定」画面上の項目より「ネットワーク」メニュー内の「詳細設定」を選択し、サブ項目の「Wi-Fi本体設定」を選択します。



無線LAN	チェックを入れると無線LAN機能を使用します。 【標準値：チェックあり】
現在接続しているホットスポット	現在接続中のSSIDが表示されます。
信号強度	現在接続中の電波強度を表示します。
DHCP	標準でチェックが入っております。変更はできません。
IPアドレス	無線LAN接続に使用中のIPアドレスが表示されます。
サブネットマスク	無線LAN接続に使用中のサブネットマスクアドレスが表示されます。
ゲートウェイ	無線LAN接続に使用中のゲートウェイアドレスが表示されます。

V2L0

DNS	無線LAN接続に使用中のDNSアドレスが表示されます。
マイネットワーク	現在登録している無線LAN接続先情報を表示します。 複数登録済みの場合、リスト上内の「接続」ボタンをクリックすることで接続先の変更が可能です。 「削除」ボタンをクリックすることで登録済み情報を削除します。
その他ネットワーク	「検索中」ボタンをクリックすることで接続可能な無線LAN情報を表示します。 接続に使用するSSID名左側のチェックボックスにチェックを入れます。
SSID	その他ネットワークリスト上でチェックを入れたSSID名が表示されます。 手動入力も可能です。
キー	接続する無線LANの暗号化キーを入力します。
暗号化	その他ネットワークリスト上でチェックを入れた暗号化名が表示されます。 プルダウンリスト上から変更も可能です。 選択値：OPEN・WPA_PSK・WPA2__PSK
接続ボタン	SSID・キー・暗号化すべてが入力済みの場合のみクリックが可能です。 クリックすると無線LAN接続を行い、正常に接続が行えるとマイネットワーク上に接続先として登録されます。

1-20.顔認識

「本体設定」画面上の項目より「顔認識」メニュー内の「顔認識」を選択します。
本項目では接続された機器へのリレー出力動作の設定も行います。
※リレー動作条件については「1-14-1.リレー動作表」を参照してください。

システム	顔認識
ネットワーク	
顔認識	
顔認識	
温度測定	
登録者表示	
	未登録者 <input checked="" type="checkbox"/>
	マスク検出 <input checked="" type="checkbox"/>
	リレー出力時間 1000 (ミリ秒)
	リレー出力条件 正常
	生体認証 オープン
	サーマル画像表示 オープン
	認識モード 顔認証
	最大認識距離 0.8m
	保存

未登録者	<p>チェックを入れると未登録者撮影時もリレー動作を行います。 チェック時、登録者、未登録者ともに正常に検知された際「通過してください」音声が出力されます。 未チェック時、顔登録者を正常に検知した際は「通過してください」、未登録者の場合、「温度正常です」音声が出力されます。 【標準値：チェックなし】</p>
マスク検出	<p>チェックを入れるとマスク検出を行います。 チェック時、マスク未着用者を検知時「マスクをしていません。」音声を出力します。 【標準値：チェックなし】</p>
リレー出力時間	<p>リレー出力継続時間を設定します。 選択値：200-10000(ミリ秒) 【標準値：1000】</p>
リレー出力条件	<p>接点切替えの条件を設定します。 出力条件については「1-13-1.リレー動作表」をご参照ください。 選択値：正常・リバース 【標準値：正常】</p>
生体認証	<p>生体認証機能の使用有無を選択します。 設定時、写真など実際の人物以外では検知しにくくなります。 選択値：オープン(使用する)・閉じる(使用しない) 【標準値：閉じる】</p>
サーマル画像表示	<p>画面上にサーマルイメージ画像の表示の有無を選択します。 選択値：オープン(表示する)・閉じる(表示しない) 【標準値：オープン】</p>
認証モード	<p>認証タイプを選択します。 選択値：顔認証・カード認証・顔とカードの多重認証 【標準値：顔認証】</p>
最大認識距離	<p>顔認識するカメラとの最大距離を選択します。 選択値：0.8m・1.0m・1.2m・1.5m・2.0m 【標準値：0.8m】</p>

V2L0

1-20-1.リレー動作表

未登録にチェックあり、リレー出力条件「正常」設定時

		マスク検出チェックあり		マスク検出チェックなし
		マスク着用	マスク未着用	
温度	警報温度未満	リレー動作する	リレー動作しない	リレー動作する
	警報温度以上	リレー動作しない	リレー動作しない	リレー動作しない

未登録にチェックあり、リレー出力条件「リバース」設定時

		マスク検出チェックあり		マスク検出チェックなし
		マスク着用	マスク未着用	
温度	警報温度未満	リレー動作しない	リレー動作する	リレー動作しない
	警報温度以上	リレー動作する	リレー動作する	リレー動作する

未登録にチェックなし、リレー出力条件「正常」設定時

			マスク検出チェックあり		マスク検出チェックなし
			マスク着用	マスク未着用	
温 度	警報温度 未満	登録者	リレー動作する	リレー動作しない	リレー動作する
		未登録者	リレー動作しない	リレー動作しない	リレー動作しない
	警報温度 以上	登録者	リレー動作しない	リレー動作しない	リレー動作しない
		未登録者	リレー動作しない	リレー動作する	リレー動作しない

未登録にチェックなし、リレー出力条件「リバース」設定時

			マスク検出チェックあり		マスク検出チェックなし
			マスク着用	マスク未着用	
温 度	警報温度 未満	登録者	リレー動作しない	リレー動作する	リレー動作しない
		未登録者	リレー動作する	リレー動作する	リレー動作する
	警報温度 以上	登録者	リレー動作する	リレー動作する	リレー動作する
		未登録者	リレー動作する	リレー動作する	リレー動作する

V2L0

1-21.温度測定

「本体設定」画面上の項目より「温度測定」メニュー内の「温度測定」を選択します。

システム	温度測定	メイン
ネットワーク	温度補正:	<input type="text" value="0.0"/>
顔認識		補正範囲-5.00~5.00
温度測定	温度チェック	<input checked="" type="checkbox"/>
温度測定	警報温度	<input type="text" value="37.3"/> °C
登録者表示	<input type="button" value="保存"/>	

温度補正	実際の温度と測定温度に差がある場合に表示温度を補正します。 選択値：-5.00～5.00℃【標準値：0.0】
温度表示	チェックを入れると顔検出時に温度を測定し、表示します。 【標準値：チェックなし】
警報温度	アラーム検出を行う温度を入力します。【標準値：37.3】

1-22.登録者表示

カメラに登録済みの人員リストが表示されます。

番号	ユーザーID	名前	有効開始時間	有効終了時間
----	--------	----	--------	--------

移動 K 1 / 0 >

1-23.ユーザー登録

「本体設定」画面上の項目より「システム」メニュー内の「ユーザー設定」を選択します。

システム	ユーザー登録					
システム設定	No.	ユーザー名	パスワードレベル	レベル	修正	削除
自動再起動設定	1	admin	弱パスワード	管理者	修正	-
ユーザー設定						
音量設定						

修正

登録されているユーザーの「修正」をクリックするとユーザー修正画面が表示され、パスワードの変更が行えます。
adminの修正を行うには「1-16-1.admin情報の修正」をご参照ください。
パスワードを変更するには「パスワード変更」にチェック後、「新しいパスワード」と「確認」に新しいパスワードを入力後、「OK」ボタンをクリックします。

削除

登録されているユーザーの「削除」をクリックすると登録ユーザーの削除が行えます。
削除するには「削除」クリック後、表示されるメッセージ上の「OK」ボタンをクリックします。

ユーザー追加

「ユーザー追加」ボタンをクリックすると「ユーザー追加ウインドウ」が表示されます。
ユーザーを追加するには「ユーザー追加ウインドウ」上の「ユーザー名」「パスワード」「確認」を入力後、レベルを選択し、「OK」ボタンをクリックします。

V2L0

1-23-1.admin情報の修正

adminユーザーの「修正」をクリックすると下図のadmin情報変更画面が表示されます。

システム	ユーザー登録
システム設定	ユーザー名 <input type="text" value="admin"/>
自動再起動設定	タイプ <input type="text" value="管理者"/>
ユーザー設定	現在のパスワード <input type="text"/>
音量設定	<input type="checkbox"/> パスワード変更
補助光設定	パスワード <input type="text"/>
Wiegandプロトコル	確認 <input type="text"/>
RS485	<input checked="" type="checkbox"/> 秘密の質問をリセット
ネットワーク	秘密の質問1 <input type="text"/>
顔認識	回答1 <input type="text"/>
温度測定	秘密の質問2 <input type="text"/>
登録者表示	回答2 <input type="text"/>
	秘密の質問3 <input type="text"/>
	回答3 <input type="text"/>
	<input type="button" value="エクスポートキー"/>
	セキュリティの問題を忘れてキーファイルがない場合は、機器を工場に返却する必要があります。
	<input type="button" value="OK"/>

パスワード変更	adminのパスワードを変更するには現在のパスワードに現在使用しているパスワードを入力後、「パスワード変更」にチェックを入れ「パスワード」と「確認」に新しいパスワードを入力後、「エクスポートキー」ボタンをクリックし、エクスポートキーを保存後、「OK」ボタンをクリックします。
秘密の質問	登録することで「adminパスワードを忘れた場合に登録した「秘密の質問」に設定した3つの質問の回答を入力することでパスワードの変更、ログインが行えます。 各項目入力後、「エクスポートキー」ボタンをクリックし、エクスポートキーを保存後、「OK」ボタンをクリックします。
エクスポートキー	adminパスワードを忘れた際に保存したエクスポートキーを読み込ませることによりパスワードの変更、ログインを行うことができます。

仕様

		V2LO F/W: V21.3.43.3
モニター	サイズ	5inc IPS HD LCD スクリーン
	有効解像度	1280*720
可視カメラ	センサー	1/2.8インチ SONY Starvis IMX307
	解像度	1920*1080 30fps
	レンズ	4.3mm
サーマルカメラ	センサー	1/5インチ 近赤外線センサー
	解像度	NIR 800*600 15fps
	レンズ	2.28mm
体表面温度検知	測定範囲	35~42℃
	検知距離	0.5-0.75m(推奨距離)
	測定誤差	± 0.3℃
顔検知	認識機能	顔検出、顔比較、マスク検出、生体検出、マスク認識
	顔検知距離	0.5-1.2m
	検知速度	0.2秒
	許容範囲	眼鏡・短髪等 (形状により認識しない場合がございます。)
インターフェイス	ネットワーク	RJ45 10M/100M
	アラーム表示	アラーム時 : 赤、通常時 : 緑
	リレー出力 / RS485 リセットキー	あり
	ウィーガンド入出力	Wiegand 26, 34 プロトコル
耐環境性	LED / 音声出力	IRライト、白色LEDライト / マイク・スピーカー内蔵
	Wi-Fi	2.4G/5.G デュアルバンド、 IEEE 802.11b/g/n, IEEE802.11a/ac
	電源 / 消費電力	DC12V、1A / 最大12W (電源アダプター付属)
	本体寸法	167Φ x 18mm
	動作温度範囲	10~40℃ (温度測定機能を使用する場合は10~35℃)
	動作環境湿度	10% -90% 結露ないこと

※1: 顔認証機能のみを使用する際の動作温度範囲となります。温度検知機能を使用する場合は10~35℃となります。

設定確認チェックシート

設定項目		チェック	設定値
日付設定	タイムゾーン設定※	<input type="checkbox"/>	
	時刻の設定※	<input type="checkbox"/>	
画面表示	画面表示	<input type="checkbox"/>	
	言語※	<input type="checkbox"/>	
スナップショット	画像を保存します※	<input type="checkbox"/>	
音量設定	音量設定	<input type="checkbox"/>	
顔認識	未登録	<input type="checkbox"/>	
	マスク検出	<input type="checkbox"/>	
	サーマル画像表示	<input type="checkbox"/>	
警報温度	温度補正	<input type="checkbox"/>	
	温度表示※	<input type="checkbox"/>	
	警報温度	<input type="checkbox"/>	

※出荷時に設定済み項目ですが、工場初期化設定後は未設定となります。

上記項目カメラ設定は全ての項目ではございません。本体を動作する際に必須項目のみ記載しております。

保証書

品番	製造番号	
お客様様	お名前 様	
	ご住所 〒	
	電話番号	
お買い上げ日 (和暦) 年 月 日	販売店名・住所・電話番号	
保証期間 (お買い上げ日から) 2年間		



本書はお買い上げの日から先、期間中故障が発生した場合、下記の保証規定内容にて無料修理をお約束するものです。ご記入いただきました、個人情報の利用目的は弊社HPに記載しております。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

株式会社 V PLUS

〒101-0051
東京都千代田区神田神保町1-32-1 やまかわビル3階
電話番号 03-5577-4292

保証規定

機器の仕様範囲内による正常なご使用で、保証期間中に故障した場合に無償交換または、無料修理を致します。保証期間中に故障が発生した場合には、商品に本書をそえて販売店へ修理をご依頼下さい。

●印欄にご記入のない場合は保証期間内でも有効とはなりませんので、必ず記入漏れがないかご確認ください。
本書は再発行致しませんので、大切に保管してください。
修理を依頼されるときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
・機器の仕様範囲を超えた使用条件や環境による故障及び損傷
・使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
・お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷
・火災、天災地変(地震、風水害、落雷等)、塩害、ガス害、異常電圧による故障及び損傷
・本書にお買い上げ年月日、お客様ご氏名、ご住所、お電話番号、販売店名の記入のない場合、或いは字句が書換えられた場合
・各部の点検又は定期保守に要する費用

■修理後の保証について
修理完了品のご返却後、製品の元々の保証期間または、ご返却後6か月間のどちらか長い期間を修理ご返却後の保証期間とし、期間中に故障が発生した場合には無償にて再修理致します。

■ネットワークに関して※1
本製品以外の他社製品、ネットワーク環境によるネットワークトラブルに関しましては、メーカー、販売会社、販売店はいかなる責任も負いかねます。修理、設定は有料になる場合があります。
※1ネットワークカメラ及びデジタルレコーダーに関連する商品に限ります。

■逸失利益等の補償
・商品の使用、または故障等により使用出来なかつた事により発生した逸失利益等について、メーカー、販売会社、販売店は一切の補償は致しません。
・動作停止期間、逸失利益、記録した映像・音声の消失や破損などの間接的損害について弊社ではいかなる責任も負いかねます。

■本書は日本国内においてのみ有効です。
この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理を約束するものです。
したがってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の処理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

サポートダイヤル: 03-5577-4292

受付時間: 平日9時~18時

VPLUS 